

記入例

第1号様式

災害起因のやむを得ない理由により半壊で解体した場合、国制度適用になる場合があります。

氷見市被災者生活再建支援金支給申請書

令和 年 月 日

氷見市長 あて

原則として被災当時の世帯主の名前で申請してください。

申請者

既に支援金の支給を受けている場合のみ、記入してください。

住所

氏名

支給番号

世帯主以外の方が申請する場合は、その理由を記入してください。

・世帯主以外の方が申請する場合はその理由

(例) 世帯主死亡のため

I 被災時の世帯の状況について記入して下さい

① 単身世帯、複数世帯の別を○で囲んでください (単数 ・ 複数) (1人) (1人)

② 世帯主の氏名

フリガナ 氏名

被災時点での世帯主の氏名を住民票のとおり記入してください。

③ 被災した住宅の住所

〒935-

住民票、り災証明書等と合致していることを確認してください。

II 被災世帯の現在の住所等を記入して下さい

現在の住所 電話番号

現在お住いの住所(郵便物が受け取れる住所)、日中連絡がとれる電話番号を記入してください。

III 世帯主の支援金の振込先口座を記入して下さい

金融機関名 支店名等 種別 口座番号

振込先口座は、原則として世帯主本人名義の口座としてください。

姓と名の間はスペースを空け、濁点は1文字として記入してください。

IV 住宅の被害状況を○で囲んで下さい (被災日: 令和6年1月1日)

被害状況 (全壊・半壊解体・敷地被害解体 長期避難・大規模半壊・中規模半壊・半壊・準半壊)

半壊解体・敷地被害解体の場合はその理由:

半壊の場合、記入不要です。

該当する被害状況に○を記入してください。

V 支援金の申請額について

(1) 申請する基礎支援金について該当する金額を○で囲み、申請額を記入してください。  
(初めて申請される方は必ず記入してください。2回目以降は、特に必要がない限り空欄のままです。)

区分	今回申請(A)		受給済(B)		備考(添付書面等)
	複数世帯	単数世帯	複数世帯	単数世帯	
全壊	100万円	75万円			住民票 預金通帳の写し
解体(半壊・敷地被害) 長期避難	全壊・解体(半壊、敷地被害)・長期避難・大規模半壊の場合、 国制度適用のため、国の申請書で申請してください。その他( )				
大規模半壊	50万円	37.5万円	50万円	37.5万円	
申請額(A-B):					万円

(2) 申請する加算支援金について該当する金額を○で囲み、申請額を記入してください。

区分	今回申請(C)		受給済(D)		備考(添付書面等)
	複数世帯	単数世帯	複数世帯	単数世帯	
全壊、解体、 長期避難、 大規模半壊	建設・購入	200万円	150万円		契約書の写し
	補修	全壊・解体(半壊、敷地被害)・長期避難・大規模半壊・中規模半壊の 場合、国制度適用のため、国の申請書で申請してください。その他( )			
	賃貸住宅 ※公営住宅入居者 除く				
中規模半壊、 半壊	建設・購入	100万円	75万円		契約書の写し
	補修	50万円	37.5万円		その他( )
	賃貸住宅 ※公営住宅入居者 除く	25万円	18.75万円	25万円	18.75万円
準半壊	建設・購入	50万円	37.5万円		住民票 預金通帳の写し
	補修	25万円	18.75万円		り災証明書
	賃貸住宅 ※公営住宅入居者 除く	10万円	7.5万円	10万円	7.5万円
申請額(C-D):					万円

(注1) 備考欄の添付書面は、該当するものを○で囲んで(その他の場合は書面名も記入して)ください。  
(注2) それぞれの支援金について、複数の「区分」に該当する場合は、それらの中の高いほうの額が最終的な支給額になります。既に受給した支援金がある場合は受給済額との差額を「申請額」の欄に記入してください。

市記入欄			
添付書類確認欄	り災証明書	住民票	預金通帳の写し
			契約書の写し
			その他
備考欄			
			担当者名